

一般質問

鈴木 立
議員

○救命救急道路として大変重要な板山トンネル及び棕呂路トンネルの長期完成計画について

質 松浦市は原子力発電所に隣接していることから、起きてはならない事故、事件が生じる事態となったとき、尊い市民を一刻も早く避難誘導し、多くの命を救う緊急性の高い救命救急道路と位置付け、非常に重要な板山トンネル及び棕呂路トンネルの早期完成を早期建設着工が行われるようにしていただければと思うが、理事者の考えを伺う。

市長 主要地方道佐世保日野松浦線は、佐世保市と松浦市を結ぶ広域基幹道路であり、原子力災害対策としての緊急避難道路である。また、佐世保市総合医療センター（第3次救急施設）への救急患者搬送のための命の道としても大変重要な役割を担っている。今後も棕呂路・板山トンネル建設促進期成会として、道路整備に必要な財源の確保、先行して実施されている板山トンネルの整備促進、棕呂路トンネル事業化までの道路改良の促進について、しっかりと要望していきたい。

○定住促進住宅建設と上志佐小学校児童数減少対策について

質 百数十年の歴史と多くの子ども達を輩出し、大変な歴史的重みを刻んで今日があるこの上志佐小学校を、少子化は時代の流れで全国的なことだからと、何ら知恵も出さず、万策尽き果てるまで努力もしないで廃校を迎えることは、長い歴史を歩んできた学校と卒業された先輩の方々に申し訳ない。署名活動で652名の方が賛同されたことは、非常に重い廃校回避の施策を伺う。

市長 今、市が持ち得ている情報では、住宅を建てても需要が見つからない状況にある。したがって、住宅建設が上志佐小学校の児童数を増やすことにはつながらないとの結論に至った。このようなことを踏まえ、今後は、上志佐小学校の児童数増加や上志佐地区での定住につながるような複合的な施策の組合せが必要と考えている。こういったことから、教育委員会の考え方と併せて対応していきたい。

教育長 上志佐小学校においては、今年度、複式学級が2学級発生している。教育委員会としては、松浦市小中学校適正配置計画を基本として、複式学級の解消策を考えている。具体的には、志佐小学校から上志佐小学校へ特別に転入学を認める制度を考えている。今後は、関係校長や保護者並びに地域の意見を聞きながら進めていきたい。

一般質問

久枝 久
議員

○「つばき荘」の今後の運営について

質 指定管理料として昨年度から1600万円を補助しているが、つばき荘経営者の報酬はどうなっているか。

食と観光のまち推進課長 株式会社つばき荘から提出された収支報告書には、役員報酬の記載はない。
質 29年度決算報告のガス代は幾らか。

食と観光のまち推進課長 年額で、754万4000円となっている。

質 現つばき荘の大広間でテーブルを使用している利用者数を伺う。

食と観光のまち推進課長 テーブルに椅子使用で約50人となっている。

質 福島町内で福島小・中学校、元養源小学校の同期会や同窓会、法等、つばき荘では狭いから伊万里でしたとか聞いたことはないか。

福島支所長 直接聞いたことはない。

福島町内で30名以上の宴会をする場合、つばき荘以外に会場がない。人数によつては、最初からつばき荘が候補に上がらない場合もある。

質 昨年度からの指定管理料10年で、1億6000万円とすぐになる。指定管理契約10年間で現経営者が経営権を放棄や経営不能状況なら指定取消しもあり得る。現経営者が手を引

いたとき、その後の対応はできるのか。

市長 その時点で適切に考えるべきものと思う。福島の全島公園化計画等の施策を通じて交流人口を増やし、つばき荘に宿泊してもらえよう市としても側面的支援はしっかり行う。今後も指定管理者と共に協議して取り組んでいきたい。

質 今後の累積赤字を考え、大広間の改造等適切な方法を模索すべきであるかがか。

市長 話合いの中で指摘は受けているが、まずは現施設をしっかりと活用する中で経営の健全化を図っていただく必要があるため、現時点で新たな投資を行う考えはない。

○長崎県が示した松浦市魚市場整備にかかる費用対効果について

質 県議会委員会質疑にある費用対効果1・05の意味は。

水産課長 投入する事業費100に對し、得られる効果が105%という意味合いのものである。

質 中興ホールディングスから駐車場を年間約900万円で賃貸しているが、売買を書面で約束しているから文書を送付し、承諾する旨の文書を受け取っている。

質 平成32年度までの売買の実行は。
市長 魚市場の再整備が完了する平成32年度を目途に、中興ホールディングス様と協議を進めていきたいと考えている。